14・5・3

一般質問

バランスシート 効果的に活用せよ

グループ21 吉野(和) 議員

議員 私は平成11年6月議会でバランスシート（貸借対照表）の必要性について質問した。その後、11、12年度の決算のバランスシートが作成され、市のホームページ上で公開されている。これを評価した上で伺う。①今後の課題として、特別会計や一部事務組合、外郭団体も含めた連結バランスシートの作成が必要だ。これにより、市全体の資産等の総体的、全体的概要を知ることができる。連結バランスシートに関し、②検討状況④見解――を伺う②企業の財務諸表では、資産、負債等のストックの状態を表わすバランスシートとフロー（一会計期間）の経営成績を表わす損益計算書は対と考えられ、両者がリンクされて初めて会計システムになり得る。企業と市民の福祉向上を目指す役所とでは違う部分もあるが、損益計算書的発想を無視してよいものではない。都で先行実施されているが、本市でも損益計算書的なものを作るべきだ。③行政コスト計算書④キャッシュ・フロー計算書――を作成せよ③今後、行革に直接的に最も役立つと思われる事業別バランスシートに関して伺う。これは都が熱心に行い、一定の具体的成果をあげている。都ではこれを6事業について作成し、その分析の結果、多摩ニュータウン事業の見直しが図られ、他の事業にも改革が行われようとしている。この発想の根底には、民間企業で各事業の自己責任に基づく事業運営を徹底させるために、従来の事業部制を一歩進めた、いわゆるカンパニー制の考え方があると言われる。これを役所に適用すれば投資対効果の最大化をめざすことである。役所のバランスシートには、いわゆる資本という概念はない。私は特にハコモノ事業にこの発想が必要と考える。本市の主要事業について事業別バランスシートを作成し、必要な部分は見直しを図り、カンパニー制の考え方を導入し、抜本的改革に役立てていくべきだ。事業別バランスシート作成への見解を聞く④より役立つバランスシートにするためにも、情報化、行政評価と有機的に関連させ、行政改革に役立てることが重要である。バランスシートとこれらの関連づけに関し、基本的考えを伺う。

市長 ①②普通会計に全ての特別会計を加えたバランスシートの作成、公表に向け最終的な詰めの段階だ②外郭団体に連結したものも必要だ。現在、具体的に検討し、まとまりかけている④市の情報を積極的に市民に提供する手段としてインターネット等を活用する。また、行政評価を構築していく中で

完全学校週5日制 子どもたちが心配だ

政新クラブ 田中 議員

議員 この国の次の時代の運命を左右するのは、今日の教育のありようである。4月からの学校週5日制移行にあたり、教育、子育てをテーマに3項目を提言したい。①市内の各地域では、小・中学生の卒業を祝うもちつき大会など、地域と学校が協力してきた伝統的な行事が数多い。学校週5日制で行事がなくなってしまう、あるいは平日に行われるのではないか。そんな心配の声を保護者や地域から耳にする。教育長の考えを伺う②この国の教育には「金銭感覚・経済」の教えがない。今やビジネスも、世界を相手の競争となっている。子どものころから経済の仕組みやお金の大切さを、他の教養と同様に身につけることが必要である。そのために例えば、小・中学生がフリーマーケットで商売の実体験をするイベントの開催はどうか。そこでは子どもたちが会社をつくり、材料を仕入れ、商品を売り、決算し、利益を分けあう。この体験を通じ、起業家精神が芽生えることも期待される。生きる力を育てる実地教育として提案したい。所見を伺う③今日、子どもたちが荒れているのは、正義感をはぐくむという教育が欠けているからである。家庭を含む教育の場で偉人伝を読むことで正義感を養うべきだ。市主催による偉人伝の読書感想文コンクールを頂点とする、偉人伝を読む運動を提唱したい。三鷹発の全国運動にふさわしいテーマと考える。見解を伺う。

教育長 ①教職員を中心に理解と協力を求めつつ、展開できるように指導を進めていきたい②関係部局や市の経済団体との連携を図りつつ、金銭教育の実施を検討していきたい③学校図書館活動の一つに位置づけ、対応していきたい。

<その他の質問>「教育・子育てのまち三鷹憲章」について

地域と学校が連携した卒業を祝うもちつき大会……第六小学校

シェアリング ワーク 行財政改革に生かせ

政新クラブ 加藤 議員

議員 ワークシェアリング導入論が高まっており、本市でも検討すべき時だ。平成13年12月の完全失業率が5.6%、完全失業者数は321万人と過去最悪となり、国も雇用対策を打ち出すが依然厳しい。こうした中、1人当りの労働時間を短縮し、仕事を分かち合って雇用の維持・創出をするワークシェアリングが浮上してきた。(財)社会経済生産性本部では、正社員の労働時間を5%短縮し、その分の給与も削減すると215万人の雇用の創出効果があると試算する。ワークシェアリング導入には、兵庫県庁を皮切りに、各自治体や企業等でも検討されている。①失業や減収等で生活不安を感じる人が約83割に達するとの報道があった。市が自らの職場を市民に提供し、市民の失業不安等を解消すべきだ。ワークシェアリングについて所見を聞く②市の第3次基本計画では、17年度までに120人の職員を削減するとある。臨時職員や嘱託員等の雇用も行財政改革を踏まえることが必要だ。見解はあるか③ワークシェアリングについて、②取り組んでいる自治体への評価を聞く④職員の超過勤務削減分の活用は図れないか⑤市理事者と組合の間で議論はあったか④13年11月、三鷹管内の新規求人倍率は0・71倍だ。一方、14年度の政府予算案では、雇用保険職者給付の支給等に1兆7千219億円計上されている。失業者の削減と財政支出抑制には、雇用のミスマッチ解消は重要だが、市への影響について、見解を聞く。

市長 ①様々な課題はあるが、検討すべき施策と考える②人件費削減の点から、退職職員の再任用制度や臨時職員等の活用を図りたい③②一定の評価をする④個人市民税の増収などが考えられる。

総務部長 ③④難しい状況だ⑤市政嘱託員の協議等を重ねてきた。

新学習指導要領実施 準備は万全か

政新クラブ 宍戸 議員

議員 平成14年度から新学習指導要領が実施される。子どもにとっては、そのときそのときが教育の必要なときである。市は最高の指導と最大の効果をねらうよう努力してほしい。①社会を担うべき子どもはどうあるべきで、そのための教育のあり方は何か②新学習指導要領の移行期として各学校では試行、実践が行われてきた。常に授業の運営の経過や効果を把握し、調査を行い、問題点を洗い出し、研究し、結果を次に生かす取組みが必要である。「総合的な学習の時間」に関し、②試行での課題は何か④十分な効果をあげる準備があるか⑤地域の人材活用の課題を伺う③新学習指導要領にはコンピュータや情報通信ネットワークの積極的活用が示されている。時代の潮流に対応するためにも情報教育の必要性は高まっている。一方で、13年5月の実態調査からは、本市でコンピュータを操作できない教員が小学校で17%、中学校で10・4%、インターネットを利用して授業ができない教員が小学校で32・6%、中学校で57・1%と読み取れる。②認識を問う④十分な教育効果をあげるための情報機器の活用意欲や能力向上に関し、教職員への取組みを聞く。

市長 ①知識・徳育・体のバランスがとれ、心豊かでたくましく生きることのできる人間づくりだ。

教育長 ②②学校や教員間の理解の温度差、学校行事のそのままの実施、地域人材の活用、評価のあり方等だ③教育委員会主催の専門研修や校内研修を改善、充実させ、教員の指導力向上を図りたい⑦学校間で温度差がある。学校、地域、保護者との連携に力を入れたい③②まだ不十分な水準だ④教員の習熟度別研修の実施で一定効果はあった⑤各学校での研修の継続的な実施を図りたい。

広報みたか 配布方法、紙面に改革案を

公明党 緒方 議員

議員 「広報みたか」を評価した上で伺う。①「広報みたか」を中心に、広報への考えを聞く②配布方法に関し、新聞を駅の売店などで購入する人や購読自体していない人がいる現状では、現在の新聞折込み方式から漏れたり、不満を持つ人もいる。雇用拡大の点からも㈱三鷹市シルバー人材センター等を活用した各戸配布はできないか③今や一世帯で1日1回は、コンビニを利用すると言われる。市内コンビニへの配布協力依頼について、考えを聞く④各部局の情報を待って集める編集ではなく、市民の関心事など、広報課側が主体性を持ち、積極的に各部局へ特集枠等でリクエストするなど、打ち出したいものを収集、編集するべきだ⑤募集記事を一カ所に集めるテーマごとに特集を行うなど、見つけやすさ、見やすさを工夫せよ⑥これまで以上に、市民の聞きたいことも積極的に取り上げ、掲載するべきである。問い合わせ等を集約できるシステムを構築せよ⑦「広報みたか」とホームページや子育て相談等の各種ネット相談などとの関連性が分りやすいことが大切である。画面の統一性、特集の共有、打ち出しの同時性も考慮するべきだ。考えを伺う。

市長 ①説明責任の観点からも重要だ。率直に真剣に取り組みたい。

企画部長 ②提案の方法は配布の即時性等に難がある。㈱三鷹市シルバー人材センターと協議していく③配布協力店の拡大に努めたい④努力していきたい⑤努力したい⑥プライバシー保護に十分留意し工夫したい⑦市のホームページのリニューアルの中で工夫したい。

<その他の質問> 完全学校週5日制の実施について

三鷹の歴史・民俗研究を極めよ

政新クラブ 榛澤 議員

議員 広辞苑で「三鷹」をひくと市の説明の次に、52年前の暗い「三鷹事件」が昔と全く同じ記述で続いている。三鷹の歴史や民俗を掘り起こし、明るいイメージに一新してほしい。①歴史や文化の大切さを守り伝えるには、まず人づくりである。他市では地域博物館を拠点に、史談会などの主グループが盛んに活動している。本市も何らかの形で拠点が必要ではないか②地域に根ざした歴史や文化には先人が残した知恵がある。市民が文化財に接することは、これからのまちづくりにも大いに役立つ。聞き書きやビデオによる保存など、歴史・民俗を継承して調査する体制づくりが必要だ③市民が歴史や民俗に興味がそそられるよう、市は研さんを極めてほしい。④かつての三鷹は畑中心の農村で、用水が生活基盤を支えていた。品川用水や砂川用水など、用水を文化財として扱うべきだ⑤新龍源寺に墓もある。深く研究すべきだ⑥玉川上水遺跡の表示ができないか⑦三鷹市の名称になった御鷹場や杭の位置を検証せよ。

市長 ①文化財と自然をあわせ、地域丸ごと博物館を考えている。

教育長 ②基本的には、生涯学習の担当課で対応していきたい。

教育委員会事務局次長 ③④困難だが、何らかの形で伝承していきたい④調査しており、結果は公表したい⑤検討したい⑥関係する調布市と連携し、研究を進める⑦表示を検討したい⑧研究に努める。

青少年の健全な育成のために

公明党 永原 議員

議員 ニューヨークでの同時多発テロなど、21世紀を迎えた今も、世界には課題が山積している。ある学者は、テロの病理に他者性の不在を指摘した。人間は他者を意識してこそ自己がなりたち、自らの魂の響き合いを通して成熟すると論じている。①本市には、魂の響き合いの場となる青少年の健全育成事業が数多い。②中学生意見発表会では、各学校の代表が勇気ある発表をしている。この素晴らしいメッセージを、もっと多くの生徒に聞かせてあげてほしい。公会堂の別館ではなく、ホールで開催できないか④福岡県では一青少年アンビシャス運動」に取り組んでいる。なかでもアンビシャス広場は、地域の公民館などを活用し子どもたちが自主的に集まり、友達や大人と触れ合うことで地域の教育力向上を目指すものである。本市での導入について考えを伺う②平成13年12月、「子ども読書推進法」が成立した。本市は、すでに7年度から各小・中学校の図書館整備を進め、14年度には完了する。司書は順次配置され、児童・生徒の読書活動への好影響が報告されている。②現在、学校と市立図書館との間で、図書の貸出しが行われている。だが、司書がリュックを背負い、自転車で借りに行っているのが実態だ。配達する巡回車両を確保できないか④司書は市政嘱託員であり、研究の場がないと聞いている。新しい法律の施行時などには、研修会等も開催すべきだ。

教育長 ①②会場の都合や参加人数の推移等を見て、考えていきたい④市の施策の中で、その精神は生かしていきたい②②改善策をとりたい④積極的に取り組みたい。

<その他の質問>環境行政について